

## —— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

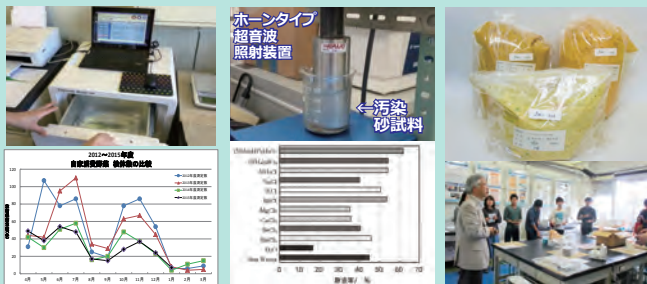
- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
  - II 震災記録の保存事業
  - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
  - IV 被災障がい者自立支援促進事業

# いわき地域復興センター 活動のご報告

～ 本年度の活動報告書が完成しました ～

震災から5年、地域の復興が進む中、当センター事業も一つの節目を迎え、復興から創生へ新たなステージに進む段階となりました。今回はこのたび完成した「平成27年度活動報告書」に掲載した本年度の主な活動内容を事業ごとにご紹介いたします。併せて、裏面にはこれまでの5年間を振り返り、各事業の主たる活動をまとめました。今後も地域のみなさまのお役に立ていくとともに、福島県浜通り地域のまちづくりの一助となるよう、さまざまな活動になお一層取り組んでまいります。

### I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業



### II 震災記録の保存事業



### III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業



### IV 被災障がい者自立支援促進事業



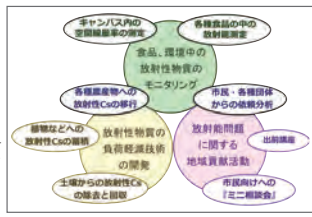
FMいわきラジオ番組「いわきグローバルマルシェ」による情報発信（Ⅲ・Ⅳ事業協働）

# いわき地域復興センター事業 5年間の主な活動



## 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業

放射能測定のための拠点となる「環境放射線測定室」を設置。Ge 半導体検出器および NaI 検出器をいち早く導入し、一般市民や事業者からの放射能測定依頼に対応。土壌等からの放射性物質除染技術の開発や、出前講座開催等による地域貢献にも尽力。



### ■食品・環境中の放射性物質のモニタリング

原発事故発生1ヶ月後から、空間線量および環境中の放射能濃度測定を実施。これまでに、一般市民および事業者等からの7,000件を超える検査依頼に対応。

〔放射能検査数推移〕

年度	検査数
2012年度	2,166件
2013年度	2,037件
2014年度	1,595件
2015年度(※)	1,325件
合計	7,123件

(※) 2015年度は1/22現在

### ■放射性物質の負荷軽減技術の開発

物理的、化学的、生物学的的手法を用いた多角的な除染技術の研究を実施。



### ■放射能問題に関する地域貢献活動

講演会：約70回  
放射線測定室見学対応：約80回



## 震災記録の保存事業

### ■震災資料の収集活動

東日本大震災・原発事故に関する資料の収集を実施。写真等を含む一次資料が21,487点、書籍等の二次資料が2,120点、合計23,607点(2015年10月20日現在)をこれまでに収集。一部は震災アーカイブ室で公開中。



### ■いわき市内外におけるパネル展の実施

収集した震災関連資料から、地域別にまとめた写真パネルを作成。これまでに、いわき市内や他県および海外(ドイツ)等の約30か所でパネル展を実施。また写真パネルの貸し出し依頼にも対応。



### ■講演会活動を通じた震災の記憶の継承

震災の記憶を留めておくため、各種イベントを実施。「はまどおりのきおく」と題するトークイベント3回、写真提供者によるパネル展と連携した講演会、バスツアーなどをこれまでに10回程度開催。



## 被災地の情報発信による観光まちづくり事業

観光まちづくりを阻害する風評被害を払しょくするため、いわき市在住の留学生を中心とする外国人の視点で、「いわきのいま」をウェブサイトやラジオ等を活用して国内外に情報発信。

### ■取材記事のウェブサイト掲載・掲載記事総数 267 件

〔多国語による取材記事掲載件数〕(※) 2015年度は1/31現在

年度	2011	2012	2013	2014	2015(※)	計
中国語		14	37	28	32	111
韓国語	3	10	45	56	4	118
ミャンマー語・ネパール語					14	14
日本語		8	10	2	4	24
全体	3	32	92	86	54	267

使用している言語は、日本語、中国語、韓国語、ミャンマー語、ネパール語の5か国語。留学生が取材した内容を母国語で情報発信。



### ■取材内容のラジオ放送

SEA WAVE いわきのラジオ番組「いわきグローバルマルシェ」で、学生が取材した内容を日本語で語り、週1回放送。



## 被災障がい者自立支援促進事業

学生が、いわき地域の障がい者就労支援事業所に訪問取材を行い、得られた商品情報や事業所のニーズを、ウェブサイトやFMラジオで発信。これまで19か所の事業所を取材。現在ガイドブック作成中。

〔取材先事業所・商品一覧〕

訪問取材施設	取材対象商品	
社会福祉法人みどり会	のほら	さしみこんにやく
認定NPO法人なごそ授産所	虹のかけはし	しあわせみそ
社会福祉法人誠心会	工房・阿列布	お弁当
社会福祉法人復興福祉会	いわき学園	納豆・パンなど
NPO法人まごころワーク	たんぽぽ	お餅
認定NPO法人みどり福祉会	就労支援センター未来工房	ジャム
NPO法人ゴールドクラブ	あつたかび工房フルクテン	菓子パン
社会福祉法人誠心会	ふじみの園	クッキーなど
社会福祉法人誠心会	ワークセンターしおさい	うどん
社会福祉法人誠心会	天真庵	うどん
NPO法人	ワークショップあいあい	ウエス
社会福祉法人いわき福祉会	福祉サービス事業所かがやき	米・野菜
社会福祉法人いわき福祉会	福祉サービス事業所つばさ	お弁当
社会福祉法人希望の対話会	杜のどーなつ	杜のどーなつ
社会福祉法人希望の対話会	けやき共同作業所	お弁当
社会福祉法人希望の対話会	ふたばの里りんべるハウス	ラスク
社会福祉法人希望の対話会	あとりえ北山	クッキーなど
社会福祉法人希望の対話会	工房けやき	豆腐



## いわき地域復興センター事務所

地域に向けた復興支援事業の窓口として市街地に事務所を設置。食品等の放射能検査の対応窓口、当事業の活動状況や震災関連情報などの提供の場として地域に開放。年1回いわき地域復興センターフォーラム(計4回)、月1回ミニ相談会(計42回)、バスツアー(計4回)などの各種イベントを開催。



### ■お知らせ■

震災から間もなく5年を迎えます。センター開所以来発行してまいりました当 News Letter は、本号を持ちまして最終号とさせていただきます。これまでご高覧いただき誠にありがとうございます。今後もセンターの活動は継続し、その内容は右記HPに掲載していく予定です。今後とも宜しくお願い申し上げます。



文部科学省  
平成23年度大学等における  
地域復興のためのセンター的機能整備事業

## いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8  
Tel.0246-38-7132 Fax.0246-38-7134  
URL <http://www.revive-iwaki.net/>



● 過去の情報やセンターの詳しい活動内容はHPをご覧ください。 ●